

『深谷市緑の基本計画(案)』に関するパブリックコメントの実施結果について

市では、深谷市緑の基本計画(案)についてH21.12.28からH22.1.27までに、市民の皆様から意見を募集しました。その結果、1人の方から4件の意見が寄せられました。いただいた意見及びこれに対する市の考えは以下のとおりです。

NO.	ページ・項目	ご意見	市の考え方
1	P.1 深谷市緑の基本計画策定の経緯と目的	合併前の旧市町の計画をもとに進めていくのは大切なことですが、深谷市として新たに基本計画を策定するのに合併前の地図は必要でしょうか？その他にも深谷地区・岡部地区などと分けて計画を策定すべきでしょうか、深谷市として新たな計画を策定して行くのですから、いつまでも合併を引きずるのではなく東部地区とか南部地区と表記できないものでしょうか。	合併後、新たな緑の基本計画であることから、施策を実現していくためには旧市町の地区別の方針を掲げることが、より分かりやすいと判断いたしました。 また、旧市町の緑の基本計画と緑のマスタープランなどとの整合を図るため、旧市町の地区別の方針を策定しました。
2	P.11 緑の現況調査	緑地の中では、花園地区から大谷地区にかけて造園業を営んでいる方が多くあります。おそらく相当な「緑」が現存すると思われませんが記載がない理由はなぜですか、現在進行中の「緑の回廊構想」との整合性に疑問を感じます。また航空写真が掲載できれば、「緑」の配置が一目瞭然と思いますが写真はないのでしょうか？	本市の緑の基本計画では、担保性のあるものを「緑地」として位置づけ、計画策定の基礎的な数値として把握しております。 造園業を含む農用地区域は、都市緑地法運用指針において、原則として緑地には農地を含まない、としてあるため計上しておりません。 しかし、「緑の回廊構想」に関しては、施策の中に位置づけており、今後、植木・花卉の産業振興とあわせて緑化に努めていきます。 また、航空写真については、報告書サイズでは読み取ることが難しく、掲載しておりません。 基本計画を策定する資料では、緑地を確認するために、航空写真を基に市域の緑地を確認しております。
3	P.17 市民意向の把握	ここに千葉県の下式非常用トイレがある理由が解りません、写真からも、その内容が掴めないと思うのですが。	この写真については、市民アンケートにより要望の多い公園の例として掲載してあります。 現状では深谷市内の公園において、防災公園が事例として無いことから、他市の事例を参考として掲載してありましたが、より、身近な例として、市内の公園において防災機能を有する公園の写真と差替えます。
4	P.46 貴重な緑の保全・活用	鐘撞堂山は、ハイキングコースとして整備され、多くの市民の皆さんが余暇を楽しまれておりますが、山頂にトイレがありません。レクリエーションとして位置付けるのであれば、早急にトイレの整備をするべきではないでしょうか。(計画に入れるべき)	鐘撞堂山については、貴重な緑の保全と活用として、施策の中で位置づけています。トイレなどの整備については、施策を実施する中で、検討させていただきます。